

アジア・オセアニア好配当成長株オープンの運用状況

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
追加型投信／海外／株式

2016年12月20日

【中国の政治を取り巻く環境】

今回のレポートでは、金融市場において現在注目されているトランプ米次期政権の対中政策と、12月14日から16日にかけて北京で開催された中央経済工作会議についてお伝えします。

【2017年は米中二国間の交渉が注目される】

トランプ米次期大統領が中国を為替操作国に位置付け、中国からの輸入に45%の関税をかけるとの厳しい姿勢を示したことから、米国の次期政権の政策が中国経済に与える影響が一部で懸念されています。同氏はまた、歴代米政権が支持してきた「一つの中国政策」に縛られない考えを示したことを受けて、中国政府の幹部が懸念を示すなど、足元では米中二国間の緊張が高まる可能性が指摘されています。

ここで注目したいのは、トランプ氏が12月7日、駐中国大使に指名すると発表したアイオワ州知事のテリー・ブランスタッド氏です。トランプ氏は声明において「ブランスタッド氏は、習近平国家主席ら中国の指導者と長年の関係があり、駐中国大使として理想的である。国益を代表して互恵的な関係をさらに発展させてくれるはず」と強調しました。

メディア報道等ではトランプ氏の強硬姿勢が取り上げられがちですが、今後両国間で貿易関係や為替などの交渉が進められる中では、米国が親中派大使を起用することにより、硬軟織り交ぜながら現実的な妥協点を探ることになると考えられます。株式市場や為替市場においては、両国間の交渉動向が2017年前半の注目材料になると思われます。

【中央経済工作会議で積極的な財政政策の継続が示される】

中国政府は12月14～16日、北京で中央経済工作会議を行いました。同会議では、積極的な財政政策を継続することにより中国の安定成長を実現する方向性が示されたほか、2016年から本格的に開始した鉄鋼や石炭の余剰生産能力の解消の継続や不動産バブルの予防・抑制、国営企業改革の推進などの方針が確認されました。

中国政府は国営企業改革に関して、電力や石油、天然ガス、鉄道、通信などのセクターを中心に、民間資本を導入する「混合所有制」が改革の新たな突破口になると位置付けています。

中国では、中央経済工作会議開催後3週間以内に「商務工作会議」が開催される予定です。同会議において対米貿易交渉の方向性が示される可能性があることから、株式市場においても「商務工作会議」の動向は注目材料になると見られます。

トランプ氏が大統領選後に行った中国・台湾に関する発言

対台湾	◇台湾総統が当選祝いに電話をくれた。ありがとう。 ※米大統領や次期大統領と台湾総統との協議が公になったのは、1979年の米台断交以来初めてとされる。
中台問題	◇私は「一つの中国政策」を完全に理解している。貿易など他の分野に関する問題で中国と合意しない限りは、その政策に我々が縛られる理由が分からない。
対中国	◇中国の通貨価値引き下げや、我々が中国製品に課税していないのに中国が米国製品に高率の関税をかけていること、南シナ海に巨大な要塞を築いていること、北朝鮮問題で我々を全く助けてくれないことに、米国は非常に打撃を受けている。

(出所)各種資料より岡三アセットマネジメント作成

中央経済工作会議での主な決定事項

- ・財政政策はさらに積極的で有効なものにする
- ・穏健で中立的な金融政策を継続する
- ・鉄鋼や石炭産業を中心に、サプライサイド改革の深化を継続する
- ・農業のサプライサイド改革を推進し、良質な農産品の供給や農村環境問題の解決力強化につなげる
- ・企業の過剰な債務（レバレッジ）・生産能力・在庫の引き下げ、コストの低下を促す
- ・混合所有制を主軸とする国営企業改革を推進する
- ・人民元為替レートを合理的な水準で安定させる
- ・不動産市場の安定的かつ健全な発展を促し、不動産バブルの予防に注力する

(出所)各種資料より岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
追加型投信／海外／株式

【円安の進行を受けて、基準価額は上昇】

当ファンドの基準価額は、アジア・オセアニア地域の株式市場が一部を除いて12月に入ってから上昇したことに加え、為替市場で円安が進んだことを受けて、上昇しました。

12月16日現在の基準価額は、1万口当たり2,793円となり、11月30日からの上昇額は100円となりました。基準価額の変動要因につきましては、株式要因等で約17円のプラス、為替要因で約120円のプラス、分配金要因で35円のマイナスとなりました。

株式要因の中では、香港の株価下落がマイナスに寄与したものの、投資割合の大きいオーストラリア、台湾、韓国の個別企業の株価上昇がプラスに寄与しました。為替要因では、アジア・オセアニア地域の通貨は全て対円で上昇し、プラス寄与となりました。

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」の組入比率につきましては、株式市場の上昇基調が継続すると判断し、概ね96%台から98%台で維持しました。

【アジア・オセアニア株式市場は外部環境の好転を受けて概ね上昇】

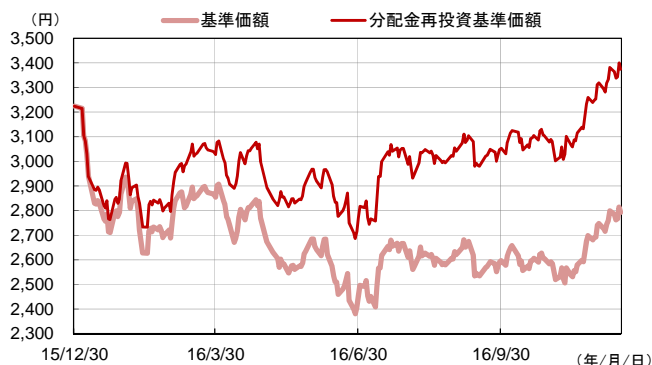
アジア・オセアニア地域の株式市場は12月以降、足元まで一部の国・地域を除いて概ね上昇する展開となりました。石油輸出国機構(OPEC)の減産合意後に原油価格が上昇したことや、米国株式市場において上値を試す展開が続いたことを受けて、アジア・オセアニア地域では投資家心理が改善しました。

オーストラリアは、中国の11月の貿易統計が市場予想を上回ったことを受けて対中輸出の持ち直しが期待されたほか、原油価格の上昇を受けてエネルギー株や資源株主導で上昇しました。

一方で香港は、人民元安の進行に伴う資本流出懸念が続いたほか、中国の証券当局が保険会社による株式投資の規制強化を行ったことから需給悪化に対する警戒感が強まり、逆行安の展開になりました。

基準価額の推移

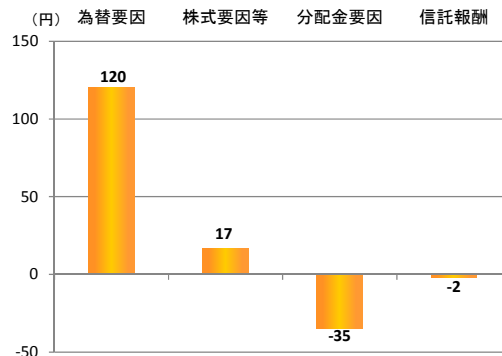
(2015年12月30日～2016年12月16日)



(出所)社内資料をもとに作成
※基準価額は1万口当たりです。分配金再投資基準価額は、2015年12月30日を起点として算出しております。

基準価額の変動要因

(11月30日の2,693円から12月16日は2,793円に上昇)



(出所)社内資料をもとに作成
※小数点以下を四捨五入のため、差額合計が合わない場合があります。
※当分析は、当ファンドの投資対象である「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」が組み入れている「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」の要因分析結果を基に岡三アセットマネジメントが概算したものです。
※基準価額は1万口当たりです。

当ファンドが投資する国・地域の主要株価指数および為替の騰落率

国・地域	株価指数	株価指数騰落率 (現地通貨ベース)	為替騰落率 (対円)
香港	香港ハンセン指数	-3.0%	5.0%
韓国	韓国総合株価指数	2.9%	3.8%
台湾	加権指数	1.8%	4.8%
シンガポール	シンガポールST指数	1.8%	3.8%
タイ	SET指数	1.5%	4.4%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	2.3%	7.2%
マレーシア	FTSEブルサマレーシアKLCI指数	0.6%	5.1%
フィリピン	フィリピン総合指数	1.1%	4.9%
インド	S&P-BSEセンセックス指数	0.5%	7.3%
オーストラリア	S&P/ASX200指数	1.5%	3.4%
ニュージーランド	NZX50種グロス指数	-2.2%	3.6%

(出所)投資信託協会、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成
※株価指数は11月29日と12月15日の各市場終値の比較。為替は11月30日と12月16日の投資信託協会評価レートとの比較。なお、休場の場合は前営業日を使用。主要株価指数は、あくまでも参考指数です。当ファンドは指数には投資していません。

以上

(作成:グローバル・エクイティ運用部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
追加型投信／海外／株式

アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アジア（日本を除く）・オセアニア地域の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」があります。その他の変動要因としては「金利変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.3%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.134%（税抜1.05%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.728%（税抜1.60%）程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産で負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的に負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に利率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社（1）

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長(金商)第1号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
あかつき証券株式会社	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
安藤証券株式会社	東海財務局長(金商)第1号	○			
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
おきなわ証券株式会社	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
カブドットコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
極東証券株式会社	関東財務局長(金商)第65号	○			○
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
上光証券株式会社	北海道財務局長(金商)第1号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大熊本証券株式会社	九州財務局長(金商)第1号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
内藤証券株式会社	近畿財務局長(金商)第24号	○			
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
中原証券株式会社	関東財務局長(金商)第126号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西日本シティIT証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
ニュース証券株式会社	関東財務局長(金商)第138号	○	○		
八十二証券株式会社	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
ばんせい証券株式会社	関東財務局長(金商)第148号	○			

販売会社 (2)

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
廣田証券株式会社	近畿財務局長(金商)第33号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
ふくおか証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
水戸証券株式会社	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和証券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
山和証券株式会社	関東財務局長(金商)第190号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			
相生証券株式会社	近畿財務局長(金商)第1号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			
(登録金融機関)					
株式会社秋田銀行	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社愛媛銀行	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社沖縄海邦銀行	沖縄総合事務局長(登金)第3号	○			
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社北日本銀行	東北財務局長(登金)第14号	○			
京都信用金庫	近畿財務局長(登金)第52号	○			
株式会社きらやか銀行	東北財務局長(登金)第15号	○			
株式会社高知銀行	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社佐賀銀行	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社佐賀共栄銀行	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社静岡銀行	東海財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
スルガ銀行株式会社	東海財務局長(登金)第8号	○			
株式会社仙台銀行	東北財務局長(登金)第16号	○			
株式会社第三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社大正銀行	近畿財務局長(登金)第19号	○			
株式会社筑邦銀行	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社千葉興業銀行	関東財務局長(登金)第40号	○		○	
株式会社中京銀行	東海財務局長(登金)第17号	○			
株式会社東京スター銀行	関東財務局長(登金)第579号	○		○	

販売会社 (3)

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(登録金融機関)					
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社東和銀行	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社栃木銀行	関東財務局長(登金)第57号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山銀行	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長崎銀行	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
株式会社長野銀行	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社西日本シティ銀行	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
株式会社東日本銀行	関東財務局長(登金)第52号	○			
株式会社肥後銀行	九州財務局長(登金)第3号	○			
株式会社百十四銀行	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福岡中央銀行	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
株式会社福島銀行	東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			
株式会社豊和銀行	九州財務局長(登金)第7号	○			
株式会社北越銀行	関東財務局長(登金)第48号	○		○	
株式会社北都銀行	東北財務局長(登金)第10号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社みずほ銀行	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○
株式会社みちのく銀行	東北財務局長(登金)第11号	○			
株式会社南日本銀行	九州財務局長(登金)第8号	○			
株式会社宮崎太陽銀行	九州財務局長(登金)第10号	○			
株式会社八千代銀行	関東財務局長(登金)第53号	○			
株式会社琉球銀行	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>
カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)